

令和4年度 第4回 向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和5年2月7日(火) 午後2時～同3時45分
場 所	向日市役所第10会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、横田委員、吉岡委員、梅田委員、河村委員、安田委員
欠席委員	植田委員、清水委員、實川委員、中本委員、永田委員
事 務 局	永野教育長、清水教育部長、芦田図書館長、北山天文館長、渡辺文化財調査事務所長、里見文化資料館担当課長、氏松中央公民館職員、日下部生涯学習課長、生涯学習課員
内 容	<p>議題1 令和4年度社会教育関係事業報告書について</p> <p>議題2 令和5年度社会教育指導の重点(案)について</p> <p>議題3 令和5年度社会教育関係団体への補助金(予算案)について</p>
教育長	<p>【開会】</p> <p>○開会挨拶</p>
委員	<p>○挨拶</p> <p>○議題1 令和4年度社会教育関係事業報告書について —生涯学習課、中央公民館、図書館、文化資料館、天文館、文化財調査事務所の各事業について順次説明—</p> <p>—質疑応答—</p>
委員	<p>感想になるが、生涯学習課の人権研修会Ⅰ、Ⅱ、家庭教育講座に参加した。3回とも有意義で参加してよかったと思う。講師の話も素晴らしかったが、市民に学んでほしい内容を研修会に反映させようとする企画者の熱意が感じられるものだった。企画の段階で試行錯誤されているのが伝わってきた。</p>
委員	<p>放課後サポート事業だが、向陽小学校と第3向陽小学校で実施した。しかし、その他の小学校では中止となっている。その判断基準は何か。</p>
生涯学習課長	<p>判断基準は学校に一任している。中止の原因はコロナ感染防止のところが多い。</p>
委員	<p>地域学校協働活動推進事業だが、各校の活動内容を具体的に記載願いたい。今後コミュニティ・スクールが始まる上で、この事業がどういうものなのかやはり具体的に把握しておきたい。</p>

事務局	<p>今年を取組を紹介させていただくと、向陽小学校は2学期が始まる前の夏休みに3日間午前中だけだが、補充学習を取組をしている。第2向陽小学校は3、4年生が稲作について学習するので、物集女自治連合会・物集女農家組合のご協力のもと、田植えから収穫、12月のしめ縄作りまで系統立てて事業を実施している。第3向陽小学校は、しめ縄作りのほか、昔の道具である洗濯板を使った洗濯体験を今月2月に実施した。第4向陽小学校は6年生の総合学習にあるキャリア教育に関連させ、保護者の方や地域の方で、電車の運転手、看護師、車の修理、薬剤師など様々な職についておられる方を講師に招き、各小グループに分かれてお話を聞く取組を行った。第5向陽小学校は学校園整備ということで、校庭で花を育てる取組をされた。第6向陽小学校もしめ縄作りを行った。市内3中学では、中間、期末テストの前にテスト対策として大学生をサポーターとして招き、3年生を中心に補習の時間を設けておられる。</p>
委員	<p>向陽小学校の夏休み補充学習にも大学生が参加しているのか。</p>
生涯学習課員	<p>中学校同様に、大学生に来てもらっている。地域の方は大学生と学校との連絡などの調整役を引き受けてくださっている。</p>
委員	<p>スポーツを通じたまちづくりに関するフレンドシップ協定の連携事業についてだが、具体的な取組事例がききたい。</p>
生涯学習課長	<p>京都サンガは、高齢者を対象としサッカーボールを使った簡単な運動教室を開催した。また京都ハンナリーズはコロナ禍のため、中止された。京都フローラについては、運営自体が凍結されているので協定は結んだものの事業実績はない。今年度京都カグヤライズと10月に協定を提携したところだが、卓球少年少女たちを募り、選手やコーチが指導する教室を設定された。</p>
委員	<p>キッズスポーツチャレンジだが、台風のため中止となっている。せっかく企画したので、延期して実施できなかったのか。</p>
生涯学習課長	<p>延期開催になぜならなかったのか把握していないが、今後は延期開催が出来ないか生涯学習課としてスポーツ文化協会に働きかけていきたい。</p>
委員	<p>協定を結んでプロの方にスポーツを学ぶということは大変素晴らしいことだが、今後他種目に広げていくことも想定しているのか。</p>
生涯学習課長	<p>京都府内でプロチームが結成されれば協定を結んでいるというのが基本にある。今後プロチームが出来れば、種目は増えていくことになる。プロチーム以外との協定は現在想定していない。</p>
委員	<p>「ふしぎ発見！理科教室」の9月開催分は参加者数が4人と他に比べて極端に少ないが原因はなにか。また、市民教養講座「スマートフォン教室」の対象者が概ね60歳以上でスマートフォンを使ったことのない市民となっているが、参加者は全く</p>

中央公民館職員	<p>情報機器を触ったことない方が参加しているのか、年齢層はいかがか。</p> <p>「ふしぎ発見！理科教室」の参加者数は7名の申込みがあったにもかかわらず、当日3名のキャンセルが出た。開催日が3連休の中日であったことが影響したと推測される。今後の日程設定について参考にしていきたいと思っている。「スマートフォン教室」だが、2年前から実施しているが、当初よりは既に持って参加される方が増えている。こちらについても講座の企画段階での検討課題としたい。</p>
委員	<p>「ふしぎ発見！理科教室」について、子どもたちの理科離れが進む中、この理科教室は大変有意義なものである。参加者数4名は実にもったいないと思う。開催時期を夏休みに設定すれば参加者増加につながるのではと思う。</p> <p>「スマートフォン教室」だが、「初めて触る」と制限がついていると、使ったことがあるけどわからない方などにとって参加しにくい印象を与えるのではないか。使用に不慣れな方など、門戸を広げた表現にした方がいいのではないか。3月30日に同内容で開催を予定されているが、またもったいない参加者数になるのではないか。</p> <p>「夏休み子ども体験教室」は、コロナの感染拡大により未実施となっているが、予定していた内容は何か。同じ夏休み期間中で実施されたものもある。どんな経緯で延期ではなく未実施となったのか。</p> <p>寺戸公民館においても、コロナの感染拡大により未実施となっているが、同様に伺いたい。</p>
中央公民館職員	<p>「ふしぎ発見！理科教室」の講師は京都技術士会から派遣してもらっている。日程については、講師のスケジュールに影響するところが大きい。中央公民館としても夏休み期間中に全日程の実施を考えてはいるが、調整が難航する場合もある。今後とも参加しやすい日程を組めるように相手方と調整を図っていききたい。</p> <p>「スマートフォン教室」については、もっと便利な使い方を学ぶなど、昨今の現状に即した切り口で募集を行うようにしていきたい。こちらについても講師の派遣先とテーマや対象設定について検討を重ねていきたい。</p> <p>「夏休み子ども体験教室」はこれまでは市内の事業所見学を主として行っていた。昨年度は日本電産社屋、過去にはJR西日本の向日町操車場を見学先としたこともある。今年度は夏のコロナ感染拡大により、日本電産社屋の見学を中止した。</p> <p>寺戸公民館を含め、地区公民館の事業については、それぞれ公民館の自主事業と位置づけており、実勢に合わせて各自で開催可否の判断いただいているところではあるが、必要な相談やサポートは中央公民館としても行っていきたい。</p>
委員	<p>身近なところにある地区公民館が利用されていないのはとてももったいないことである。今後は更に充実した活用の推進を願う。</p>
委員	<p>地区公民館の企画はどの部署が行っているのか。</p>
中央公民館職員	<p>それぞれの地区公民館が企画、立案から実施までを行っている。</p>
委員	<p>公民館のどの立場の人が担っているのか。</p>

中央公民館職員	館長と事務員が企画から行っている。
委員	その上で、中央公民館として指導・助言を行っているのか。
中央公民館職員	地区公民館の事業に伴う経費部分については中央公民館が予算の管理から執行までを行っているので、経費についてはアドバイスをを行っている。企画、立案に関しては、助言を求められた際にはその都度対応している。
委員	地区公民館は地域の中で社会教育を担う施設として大変大きな役割を担っている。そのため、事業実施が空欄というのはいかがなものか。とても残念に思う。コロナで結果的に実施できなかったということはあるだろうが、企画をしっかりと行い、実施に向けて積極的に努力していただきたい。能動的に動く意識を持っていただきたい。その指導を中央公民館にお願いしたい。
委員	向日市の地区公民館は他自治体のものと比べて少し特殊だと感じている。公民館にはいろいろな機能があることは承知しているが、公民館の機能の中で、地域の社会教育を担う点は重要なことだと思う。中央公民館と地区公民館の関係性がわからないが、中央公民館が指導的立場にあるならば、それぞれの長の間で交流の場を設け、地区公民館を有効的に活用できるように心がけてほしい。
委員	物集女公民館の「楽しく介護予防体操」には何名の参加があったのか。
中央公民館職員	14名の参加があった。
委員	質問の繰り返しになるが、それぞれの長で月1回など、話し合いの場は現状ないのか。
中央公民館職員	館長の集合会議は年1回、5月に行っているが、日々の連携についてはその都度行っている。
教育部長	補足させていただくと、各地区公民館の予算や施設の修繕、またコロナ禍における感染予防対応など運営に係ることについても中央公民館が主導的に行っている。今回の報告書には残念ながら未実施となった事業があるが、今後についてはしっかりと中央公民館として各地区公民館をサポートできるようにしてまいりたい。
委員	自治体によって、様々な特色や地域性があると思うが、多くの自治体が公民館運営審議会を持っていて、公民館の有効的な活用方法について活発に議論されている。そういったことから考えると向日市の公民館、特に地区公民館のあり方というのは変えていく余地があるのではないかと思う。
教育部長	向日市には公民館運営審議会はないが、向日市にある5館の地区公民館のうち、4館は地区の事務所を兼ねている特殊性があり、館長と区長を兼ねている。非常に他市とは異なる特殊性があるが、事務所と公民館事業がうまく進めていけるように、

	中央公民館長が調整役となり、各事業を推進していきたい。
委員	図書館事業については毎年、たくさんの事業が行なわれており感心している。新しくできたボランティアの「虹いろおはなし会」の会員はどういった方が聞かせてほしい。
図書館長	朗読を教える資格をもった方が会員の中にいらっしゃると聞いている。2月19日に初めてのおはなし会を実施される。
委員	向日市に住んで長いですが、他の自治体と比べ、図書館が充実していると日々感じている。本のリサイクルについてもコロナ前は1日の開催で850冊程度だったものが、リサイクルコーナーの常設という実施方法に変更され、結果3300冊以上の本が引き取られたと聞き、本当に工夫し運営されていると実感している。市民としてうれしい限りだ。
委員	今年度は新しい取組として、直木賞作家の今村翔吾さんの講演会を実施された。実施に至る経緯を教えてください。
図書館長	京都新聞に全国を「今村翔吾まつり旅」として巡る立ち寄り先募集という記事がのり応募したところ来てもらえることになった。実施まで期間が短く、準備に追われたが無事実施できてよかったと思う。
委員	情報を得て、即行動に移したというのが功を奏したのではないかと。
委員	文化資料館の事業だが、3月25日に行われる企画展Ⅱ「寿岳文章と向日庵本の世界」記念講演会だが、講師は昨年度オンラインに参加された方で、今年度もオンライン開催なのか。
文化資料館担当課長	講師は昨年度シンポジウムに登壇された方と同じである。今年度は来日され、普通開催の予定である。
委員	昨年度に続き、オンライン開催と思う人もいると思うので、広報活動の時にぜひその旨をわかるように伝えたらよいと思う。また向日市教育150年記念学校展、その関連事業に参加した人から面白い取組だったと感想をきいている。今後も市民と文化、歴史が結びつくような取組を期待している。
委員	天文館事業についてだが、小学4年生～中学生を対象とした「天文実験講座」の内容をみると、専門家を講師に迎え、専門的な知識を深めることを目的に実施となっている。他の一般市民を対象とした「天文学講座」ならばまだ理解できるが、小学4年生を対象に専門的な知識を深めるとは腑に落ちない。
天文館長	対象年齢は幅広いが、4年生が理解できるように実験装置を使って目で見てわかるやり方で説明されていた。計算式を使う場面もあり、計算が得意な4年生は理解

	出来ているようだったが、参加者の中には難しいと感じた方もいた。
委員	こういった講座を開催するときは、広報時に「専門的な知識を深めることを目的に」とすると理科系が得意な子は意欲的に参加するが、広く子どもたちに興味関心を持ってもらうためには、たくさんの児童に参加してもらうには、もう少し平易な表現を使ってはどうか。
天文館長	今後の事業展開の参考とさせていただく。
委員	文化財調査事務所の取組だが、旧上田家住宅の活用方法についてだが、展示ギャラリーが使用されていないときは、図書館が所蔵している渡邊武コレクションを今以上に広く市民に見てもらうため、展示することはできないか。
文化財調査事務所長	主管課の図書館が希望すれば実現可能である。昨年の8月から11月には「向日市制施行50周年記念事業」として、向日市に縁のある作家のアートギャラリー展の開催があった。約1700名の来館があった。また展示会場がこのような事業などで塞がっていないときは、市内で出土した遺物の展示を行っている。しかしながら知名度も上がってきており、展示ギャラリーだけでなく、和室は茶席、雅楽の演奏、若者のコスプレ撮影会場に使用されるなど多様な活用の仕方で予約が埋まっている現状がある。
委員	渡邊武コレクションを旧上田家住宅で実施するとなると図書館が行うのか。
文化財調査事務所長	教育委員会の組織内でもあり図書館と協力して実施することは可能だ。また図書館に隣接する文化資料館で行うことも可能であり、貴重な歴史・文化資料を収蔵庫で眠らせておくより、活用し広く市民に鑑賞していただくのは有意義なことである。渡邊武コレクションに限らず、いろいろな活用を模索していきたい。
図書館長	渡邊武コレクションは、図書館の1階で展示ケースに入れて常設しており、2か月に1度テーマを設定し、展示品を入れ替えている。総数1,500点あり、小出しに展示している。もし旧上田家住宅で展示開催するとなると運搬手段の課題がある。また5年に1度、図書館で展覧会を開催し、着物など大きな展示物で常設では出せないものなどを展示している。
委員	長岡京があった地域なので全国各地から様々関心をもって見学に来られる。展示関係や講座の参加対象を「市民及び参加希望者」としているが、今後の参考にするため市民なのか、市外なのか数値として把握しているのか。
文化財調査事務所長	コロナ禍以前から名簿を作成しており、把握している。その結果、約3分の2が市外から参加者である。講師には様々な専門家を招いているが、その講師のファンの方が来ることもある。今後ともより多く市民の方に参加し、郷土愛を育んでもらうため、バランスのとれた参加率になるよう、周知の方法や講演テーマなどを調整していきたい。

	<p>○議題2 令和4年度社会教育指導の重点(案)について -「社会教育指導の重点」(案)について説明-</p> <p style="text-align: center;">-質疑応答-</p> <p>なし</p> <p>○議題3 令和4年度社会教育関係団体への補助金(予算案)について -小中学校PTA、青少年健全育成関係団体、子ども会、スポーツ関係団体への 補助金交付について説明-</p> <p style="text-align: center;">-質疑応答-</p> <p>向日市スポーツ文化協会の予算額が今年度と比べ、約350万円と大きく下がっているが要因はなにか。</p> <p>生涯学習課長 主に人件費である。1月31日にリニューアルオープンした健康増進センターの指定管理と向日市文化協会が請け負うことになり、そこに1名、現体制から派遣することになり、その分が減額となった。</p> <p>委員 その派遣された1名分の人件費は健康増進センターが負担するのか。</p> <p>生涯学習課長 そのとおりである。また市からも職員が1名派遣されている。</p> <p style="text-align: center;">【閉会】</p>
--	---